

～目的思考で改善ネタを効率よく抽出する考え方を学ぶ～ 成果が出る製造現場の改善テーマ抽出方法

東京開催

と き : 2020年9月24日(木)
10:00～17:00(1日間コース)

と ころ : 中産連 東京本部の周辺会場
(東京都千代田区麴町)

※東京会場の詳細は受講票にてご案内します。

名古屋開催

と き : 2020年 7月 7日(火)
10:00～17:00(1日間コース)

と ころ : 中産連ビル 研修室
(〒461-8580名古屋市東区白壁三丁目12-13)

講 師: 小林 達哉 氏 株式会社技術経営フロンティア代表取締役

ご参加
いただきたい方

- 創意工夫・改善提案の活動がマンネリ化している組織の管理監督者
- 現場の改善テーマを効果的に抽出する方法を学びたい方
- 業務フローや作業手順にそって、自職場の一つ一つの作業や工程がなぜ必要なのか再確認しながら改善事項を洗い出し成果に結びつけたい方

◆目的思考(なぜ、この作業・工程が必要なのか)を取り入れた改善テーマの抽出方法は、とても成果の出る手法です!

◆「ヒラメキのある改善」と「体系立てた改善」を両輪で取り組むことで効果的な改善につながります!

- ☑ 改善に終わりはありません。継続的に改善のテーマを抽出することが難しくとても苦労している。そのため、改善テーマを抽出する切口や考え方を学びたい。
- ☑ 将来のために自社の問題や課題を確実に押さえる実力を身につけ、より良い改善に繋げたい。
- ☑ 新たな考え方を改善活動に取り入れることで、成果を今まで以上に上げたいと考えている。
- ☑ 目的と手段を整理する「機能分析」を製造現場の改善に取り込み成果を上げたい。
- ☑ 改善には柔軟な発想ができる人材が必要だと考えている。
アイデアの発想の具体的な方法を学びたい。

本研修では、以下のことを学びます。

- ① 改善テーマを抽出するための着眼点
- ② 改善のアプローチ方法を知り、創意工夫・改善活動・改善提案に役立てる
- ③ 改善テーマ選定の効果的な考え方



講義風景

プログラム

1.生産活動とは何か

- (1)インプットとアウトプットの比率
- (2)価値が生まれることとは

2.ものづくりにおいて考えられる問題

- (1)作った製品の問題があれば
- (2)生産プロセスに問題があれば

3.製造業で注意すべきポイント

- (1)PDCAサイクルを回すこと
- (2)管理の対象
 - ①生産管理 ②工程管理
 - ③作業管理 ④原価管理 ⑤品質管理 等
- (3)QCDの最適化
- (4)会社の成長発展と改善

4.改善活動とは

- (1)改善のステップ
- (2)現状とあるべき姿のギャップ
- (3)改善活動を進めると出てくる問題点
 - ①改善活動をはじめたけれど、活性化しない
 - ②何のためにやっているかよくわからない

5.改善テーマを抽出する具体的な方法

- (1)課題抽出のプロセス
- (2)業務フロー・作業手順に着目した改善テーマを抽出する考え方
 - ①目的定義 ②問題点 ③課題設定 ④手段
- (3)テーマ抽出の着眼点
 - ①4大ロス ②ムダの種類 ③動作経済の原則 ④5M
 - ⑤対策の視点 ⑥発散と収束 ⑦進捗管理 等

6.身近な問題を抽出する【演習】

成果が出る製造現場の改善テーマ抽出方法

改善には終わりはありません。これまでも意義のある創意工夫・改善テーマを提案し実行に繋げ成果を上げてきたことだと思います。ですが、継続すると改善提案活動がマンネリ化してしまうことも否めません。

本研修では、広い視点から改善テーマを着眼する考え方を学び自職場の改善活動を活性化することを狙いとします。業務フローや作業手順に着目して、なぜこの業務フローや作業手順である必要があるか、今一度振り返り目的を定義し、問題点から課題を設定しその解決に向けて手段を模索する考え方について理解を深めます。

取り上げるこの考え方はとても明快で成果に直結するため、大手企業の製造管理監督者向け教育で盛り込まれていたり、中小企業で全社的に取り組む問題解決としても活用され成果を上げています。

講師

小林 達哉 氏 株式会社技術経営フロンティア代表取締役



大手製造業・物流業に勤務し、現場管理者・改善リーダー・マネージャーを務め現場指揮、進捗管理、改善活動、社員育成、OJTの実務を10年以上担当。その間、進捗管理・生産性向上・コスト管理や技能伝承のノウハウを蓄積する。退職後、培った経験を活かし、中小企業の生産管理、物流管理、VE管理を中心として、管理者が行う作業者の指導、改善・効率化の実績は多数。コンサルタントとして中小企業を中心に現場に入りボトムアップ型の改善活動を支援している。VESの資格を取得している。

参加者の声



・行う作業の目的をしっかりと考え、問題を見つけ対策していけたらいいと思う。ヒューマンエラーに対しても5Mを用いて対策しミス低減に努めたい。
(電子機器製造メーカー)



・自分が知らない手法を学ぶ事ができよかった。
(自動車部品製造業)



・様々な場面で活用できる手法だと思った。
(電子機器製造メーカー)



・わかりやすい切口から説明頂き興味もてた。
(自動車部品製造業)



・職場の仲間と勉強会を行いよい現場にしたい。
(自動車部品製造業)



・他人が悪いと考えずに、自分で改善できるすべを学ぶ事ができたと思う。
(自動車部品製造業)

成果が出る製造現場の改善テーマ抽出方法 参加要項 / 参加申込書

参加費 (1名様)

中産連会員33,000円(消費税込) 中産連会員外38,500円(消費税込)

申込方法

下記申込書に必要事項をご記入の上、切り取らずにFAXにてお送りください。(www.chusanren.or.jpからもお申込み可能です) 受領後、確認のご連絡をいたします。
※前日、当日のキャンセルはご容赦ください。ご参加者のご都合が悪くなった場合は、代理出席をお願いいたします。
※コンサルタント及び教育機関の方のお申込みはお断りしております。ご了承ください。

申込先

一般社団法人中部産業連盟 マネジメント事業部 大土井
〒461-8580 名古屋市東区白壁3-12-13 TEL:052-931-9826 FAX:0120-342-340

参加費お支払い

請求書・受講票を開催日2~3週間前に申込責任者宛に発送いたします。
お支払いが開催日を過ぎる場合は、お手数ですが、上記申込先までご一報下さいますようお願いいたします。

参加される日付にシ点をおつけください

年 月 日

- 【東京開催】 2020年 9月24日(木)
【名古屋開催】 2020年 7月 7日(火)

| 所属・役職名 | 氏名(フリガナ) | 年齢 |
|--------|----------|----|
| | ----- | |
| | ----- | |
| | ----- | |

会社名 _____
〒 _____

所在地 _____

TEL () -

FAX () -

E-mail アドレス _____

| 会社概要 | 業種(主要製品名) | 資本金 | 従業員数 |
|------|-----------|-----|------|
| | | 百万円 | 人 |

所属・役職名 _____

申込責任者 _____

中部産業連盟会員 (〇印をお付けください) 会員 会員外

氏名 _____

今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。
詳細は当連盟HP(<http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html>)をご覧ください。同意のうえ、ご協力をお願い致します。
関連情報が不要の場合には右記にシ点のご記入をお願い致します。 セミナーなどの関連情報の案内を希望しない



FAX 0120-342-340

マネジメント事業部 大土井 行 ★